

## 第4回 地域経済建設委員会

令和6年4月2日(火)	開会 11時30分
5階 第1委員会室	閉会 11時45分

午前11時45分 開会

### ○委員長（渡邊康弘君）

それでは、ただ今から令和6年第4回地域経済建設委員会を開会いたします。

### ○委員長（渡邊康弘君）

それでは、議題に入ります。

はじめに、委員会活動についてを議題といたします。

今回の開催趣旨の説明させていただきますが、先ほど予算決算委員会でも説明した部分はありませんので、そういったところは割愛させていただきますのでお願いいたします。

前回3月の委員会で、令和6年における委員会活動テーマ取り組みの委員長案を提示させていただきました。この案に対して3月19日までに御意見をいただくはずでしたが御意見がありませんでしたので、本日は委員長案をベースに、具体的な令和6年の本委員会に取り組む活動を決定していきたいと思います。また、先ほど議会運営委員会にて受理しました議長諮問にありましたように、委員会で取り組む内容活動を見つけていくと決定し、本委員会で調査研究を重ね、令和7年1月までに目的を達成したいと考えております。

令和6年の地域経済建設委員会では、前回説明させていただきましたこちらの経済建設委員会年間活動テーマ（案）に沿って進めていただきたいと思いますと考えております。

内容としましては、委員会活動大きなテーマとして瑞浪市で進むプロジェクトの理解と市民意見広聴からの政策提案ということを考えております。流れとしましては、委員会での研修、意見聴取、市民意見を受けた議員間討議、提言書の活用した提案というところで、先ほど予算決算委員会もありましたが、他の委員会とも連携してこれを進めていけたらと考えております。

最終的に参加団体の報告というところでできればなと一連の流れとして考えております。委員会活動テーマとしまして、これも本当に議長の諮問のところにも携わってくるんですけど、大型プロジェクト建設部につきましては瑞浪駅周辺再開発について、また瑞浪市道の駅について、公民連携としまして、経済部南商工会議所の若手チームからの提言書に関する意見聴取。また、シティプロモーションみずなみ未来部に関しまして、新しい組織体制におけるシティプロモーションについてしっかりと調査研究を進めていきたいと考えております。

今回ちょっと前もって出していた資料でしたので、瑞浪市道の駅につきましては、議長諮問のほうで、6番のところに、瑞浪市に関する課題における活用について、リニア・瑞浪恵那道路・新丸山ダム特別委員会のほうで道の駅の契約関連については、委員会の活動として課題を明らかにし、

提案要望の積極的に取り組むこととありますので、こちらで当委員会として視察とかそういう必要があれば、服装も含めますが、リニア・瑞浪恵那道路・新丸山特別委員会のほうで調査研究を進めていただければと。この諮問を受けて進めていただければと思っておりますので、その部分を外しまして、メインとしてはこの瑞浪駅周辺の再開発。商工会議所との意見交換とシティプロモーション、新たな体制におけるシティプロモーションについてというところで考えておりますので、お願いいたします。

**○議長（成瀬徳夫君）**

道の駅のことは、私はリニア・瑞浪恵那・新丸山ダム道路特別委員会あれに行ったのは、瑞浪恵那道路に附随した部分があるんです。それに対してもあるので、これはこれでいいと思うよ。取り組んでくれればいいと思うよ。結局道の駅をつくるのに対して道路に附随してつくってくるわけだから、それにした問題というのがあると思うんだよ。それに対して私は調査してやってくれということなんで、そういうことなんだから。分かりました。

**○委員長（渡邊康弘君）**

ただ、今日いただいたので申し訳ありません。

それでしたら、この地域経済建設委員会のテーマあるまま進めたいと思っております。説明は以上となりますが、何か質問はありませんか。

奥村一仁くん。

**○5番（奥村一仁君）**

質問というより意見ですけど、リニアの諮問の部分とやっぱり少し重なる部分も出てくると思いますので、委員長間で調整していただいて、あちらでやることとこちらでやることとしっかり分けていただければいいかなと思います。

**○委員長（渡邊康弘君）**

昨日も本日も、辻委員長とは話をさせていただいておりますので、しっかりと協議をして調査研究を進めていきたいと思っておりますのでお願いいたします。

ほかにありませんか。

加藤輔之君。

**○3番（加藤輔之君）**

今回のテーマは本当に瑞浪市の将来にとって運命を決めるような大事なテーマばかりなので、またよく分かるし、目に見えるということで非常にいいというふうに思います。

以上です。

**○委員長（渡邊康弘君）**

ありがとうございます。

ほかに。棚町潤君。

**○7番（棚町潤君）**

2番なんですけれど、先ほど議長の御発言の中ではどういう取り扱いをしたらいいのか迷うよう

な話だったような気がするんですけど、これは委員会としてはどうされるつもりなんですか。

○委員長（渡邊康弘君）

こちらに関しましては、書面を私も全部取得させていただいたんですけど、読んで感じる感想と各つくられた方の意見というのは分かりかねるので、やはり商工会議所がどういった考えでこちらを出しているのかというのは、傾聴したほうがいいのかなど。あそこまで第1回、第2回と2年間かけてつくられた書類でありますので、それを市民側に立つ立場である議会が軽視する必要はないかなと私の考えとしてはそうなっております。

棚町潤君。

○7番（棚町 潤君）

この提言書をつくられた方々をよく存じ上げてるんですけど、純粋な気持ちでつくられているというのは話していると伝わってきますので、ぜひそういう場をつくっていただけると個人的にはうれしいなと思いますので、よろしくをお願いします。意見です。

○委員長（渡邊康弘君）

意見として出させていただきます。

加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

今の話だけれど、僕も議長の時代に商工会議所の専務理事が11月ぐらいに来たのかな。これから地域単位に回って地元の経済問題とか、飲食店とか、中小零細企業の調査をしながら、地元の人を集めたいろんな招集をやるやりたいので、ぜひ議会としても手伝ってくれという話をしてきたよね。ええことやで、やろまいと僕はけしかけておったんやけれど、その話を別の席で熊谷議員に言ったら、そんなこと地域でできますかといっという反応があって、そういうことがあって、さっき別の席だったけれど、議長の話はちょっと慎重派だったんで似たような話やけれど、消極論に聞こえたんやけれど、そういう点で委員長、積極的にやるか。

○委員長（渡邊康弘君）

これは地域に入ると各地域に出向くというその議長の言われたところと違って、若手チームの提言、あれを読んだだけでは、その文章としてしか。伝わってこないんで、しっかりとその提言を理解する。まず最低限の必要性はあると感じています。それをやった上で議長に言われたように、おのおの動きというのを考えるところになってくると思いますので、紙ベースだけで読んだだけでこれは間違いないからこれはいいではないかという議論するのは、まず本当にまだまだ早いかなというふうに感じておりますのでお願いいたします。

○7番（棚町 潤君）

補足します。先ほどから皆さん勘違いされてるかもしれないですけど、地域に出向いて説明されるというのを、商工会議所でおっしゃってるという話だったではないですか。あれは地域の市民に向けて発信するのではなくて、地域など企業に向けて商工会議所の会員に向けて話をするという話ですので、会員に向けて話をするということなので、それだけ誤解なきように。地域住民に話をす

るわけではないですから、それだけ御理解いただきたいなということを言っていました。

○委員長（渡邊康弘君）

分かりました。大久保京子くん。

○2番（大久保京子君）

今おっしゃったように、地域の会員様を集めて話をする。その中にいわゆる若手チームの方々の提言の活動をされた方が見える。

だから、私もいろいろちょっとスラットですが見たんですけれど、その話を聞くことは、委員長がおっしゃったようにあじかなと思うんです。でも、それは聞いた上で議員として、議会としてどういうふうに動いているかというのは、また、それは別だと思ってそこはしっかりと別として考えたいなと思っております。

○委員長（渡邊康弘君）

本当に市政の繁栄検討を行うと書いてありますので、全部が全部あれを全てやろうということは委員会としても難しいことだと思います。ただ、どこが本当に重点的にできてどういう思いがあるかというのは理解はしていないと、私たちが勝手に読んだだけの感覚で意見を言ってしまうといけないと思いますので、ちゃんと意見交換。商工会議所とは連携を取って意見交換している中で、せっかくここまでものを出してこられたので、若手チームの皆さんのやっぱり意見も聞くというのは議会として大事なことだと思って、委員会としても大事なことだと思っていますので、御理解いただければと思います。

加藤輔之君。

○3番（加藤輔之君）

柵町くんの言ってること僕の言っていることと違うよな。僕が聞いた話は地域を回って近所の人を集めて金融機関も集めて一緒になって地域経済のことを話そうと言ってきた、こっちやって言ったんやけれど、会員だけのふうには僕は受け止めなんで、ちょっとまた違うで。

○委員長（渡邊康弘君）

そのタイミングタイミングで捉え方も違うと思うし、私自身もそれは明確に聞いていないので、そこはしっかりと先方のそういう考えがあるかというのをここで議論しても絶対出ないと思うんですよ。確認させていただいて、そもそも大前提としては、この若手チームの提言書を渡されているので、そういったところをどういう思いを聞くというのがこの委員会のテーマとして考えておりますので、御理解いただければと思います。

ほかに御意見ありませんか。

柵町潤君。

○7番（柵町 潤君）

3番のシティプロモーションについてなんですけれども、これも調査研究を行うということですが、従前に行われてきたシティプロモーション事業に対する調査研究を行う。むしろ行っているものに関してなのか、ほかに視察に行ったりということを考えてみるのか。

○委員長（渡邊康弘君）

どちらも可能性としてあると考えてます。瑞浪市自体が他の先進自治体と比べてもかなり進んでいる内容もあります。先進地といわれる自治体が瑞浪市に視察に来ていると場合もありますので、これは新たに始まるうちの地域というところで、地域経済建設として新たに始まる部分でもありますので、これについては本当に皆さんと協議しながら必要性がある。これやりたいと、これを調べていきたいというところを、例えば、瑞浪に視察に来ているというのもあるので、どれをするかというのを協議しながら決めていきたいと考えておりますので、よろしくをお願いします。

棚町潤君。

○7番（棚町 潤君）

確かに、瑞浪市が先進的にやられていることが結構あるものですから、今やっている事業の内容を確認させてもらうのとともに、今後どういう方向性でやられるかというのを把握した中で、視察に行くというのが望ましいかなと思いますので、そういうふうに御配慮いただければなと思います。

○委員長（渡邊康弘君）

棚町潤委員と同じような考えでおりますので、しっかりと検証して必要であれば視察も行くというところで考えておりますのでお願いします。

ほかに質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかに御意見もないようですので、委員会で取り組む内容活動の目的に設定していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議もないようですので、それでは、令和6年度の地域経済建設委員会の活動につきましては、この地域経済建設委員会年間活動テーマ（案）に沿いまして詰めさせていただきたいと思っておりますので、お願いいたします。

今後のスケジュール、計画策定につきましては、委員長に一任いただきますようお願いいたします。スケジュール等作成しましたら、委員会を開催、委員に配付をして進めていきたいと思っておりますので、お願いいたします。

---

○委員長（渡邊康弘君）

次に、2その他を議題といたしますが、何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

別段発言もないようですので、以上をもちまして、令和6年第4回地域経済建設委員会を閉会いたします。ご苦労様でした。

---

午前11時45分 閉会